

# 大阪社保協通信

メールアドレス: osakasha@poppy.ocn.ne.jp

<http://www.osaka-syahokyo.com/index.html>

第 1317 号 2026.1.30

TEL 06-6354-8662 Fax06-6357-0846

大阪社会保障推進協議会

## 1 月 28 日守口社保協再建総会開かれる～33 人が参加し今後の守口市での住民運動について意思統一

1 月 28 日、永らく(7 年間)休止状態にあった守口社保協再建総会が開催されました。これはとても画期的なことです。総会の前に井上美佐先生(大阪府保険医協会副理事長・守口支部長)から記念講演がありました。

### ★再建にいたる経過(守口社保協再建総会議案書より転載)

#### ○2023 年6月8日 守口社保協再開準備会

守口市職労、守口民商、守口新婦人、守口年金者組合、保険医協会守口支部

けいはん医療生協(よびかけ団体)

確認点

①キャラバン事前学習会

②市当局との懇談会実施に向けて、庁内情勢の分析を急ぐ。

③再開準備会を定期的に開催していく。

④世話役は、けいはん医療生協が担当

#### ○2024 年8月キャラバン事前学習会

キャラバン事前学習会を開催し、大いに学んだ。守口社保協再開準備会を定期的に開催し、11月のキャラバンに備えた。

#### ○2024 年11月 27 日10時～11時

守口自治体キャラバン: 市当局 健康福祉部高齢介護課 課長他 9名

社保協側:大阪会長代理および民商、生健会、年金者組合、新婦人、保険医協会、けいはん医療生協、大阪社保協・寺内事務局長、日下部氏 17 名

終了直後のまとめの会での相談事項

低所得者の減免については大東社保協が3年かけて 150 万円基準にした。大東に見習って住民運動をおこしていく必要がある。補聴器に関する費用は数百万円ほどであり、それをけちっては他の自治体に乗り遅れますよと言っていく必要がある。民商等の名前で国保問題は独自に交渉してはどうか。

#### ○2025 年8月5日総合事業をはじめとした守口市介護保険行政に関する懇談

市当局 健康福祉部高齢介護課 課長他 10 名

社保協側 :大阪会長代理および民商、生健会、年金者組合、新婦人、保険医協会

歯科保険医協会、守口労連、けいはん医療生協、市議2名、大阪社保協・寺内事務局長 31 名

#### 終了後のまとめ

- ・大東市では事業者アンケートを持続的に行っており、参考にする必要がある。

- ・19の事例を事前提出しているにもかかわらず、総論的な回答だけである。現場ケアマネの発言は市も受け止めざるをえない雰囲気であり、効果的であった。

- ・昨年11月キャラバンとは違い、市出席者は厚い『キャラバン資料集』を手元においてあり、他市との比較発言では一つ一つ、頁を確認していた。ホームページの見直しと要支援者追跡調査エクセルデータ提供を、課として明言したことは大きな成果であった。

- ・酷暑の中、31名参加いただいたことは、市に対する大きなアピールとなった。

#### ○2025年10月30日守口市自治体キャラバン

市当局 高齢介護課・課長、主任、生活福祉課・課長代理、主任保険課・課長、主任、健康推進課・健康福祉部保険(兼)健康推進課長、課長代理、主幹、主任2、魅力創造発信課  
13名

社保協側 守口民商、新婦人、年金者組合、生健会、保険医協会、けいはん医療生協、9条の会、佐太中町在住・市民 28名

#### 終了後のまとめ

- ・ホームページの改変は、10月27日あたりで行われたものと思われる。以前のものを引っ込めさせたのは、大きな成果である。

- ・次は広報への掲載ときちんとした説明会である。

- ・調査員がきて調査をして、「片足立ち」ができるかどうかを聞く場合、人によっては「足を前後にして立てる」ことができれば、「できる」と記載する調査員もいる。難病の方は「従前相当サービス」は受けられると言われるが、「難病」の幅が極めてせまい。

- ・様々な方に「署名はないの」と言われる。署名は必要。街頭宣伝も大きく展開していく必要がある。

- ・いろいろあるが、去年のキャラバンとは市の対応(愛想)が全く違う。違う市かと思った。やはり地道に継続的に行うことが大切である。

- ・OTC類似薬の件は私の一家も含めて子どもさんを抱えた家庭の一大事。

#### ○2025年11月25日守口社保協再開準備会

再建総会の概要、記念講演の中身、人事等について確認

#### ○2025年12月8日

守口社保協から守口市長に対しての要望書を提出

#### ○2026年1月13日守口社保協再開準備会

「再建総会への報告」(まとめと今後の方針)、会計、新人事、新会則等について討議し、確認

### 【体制】

会長 伊川 輝氏(守口民商)

副会長 大澤鉄五郎氏(けいはん医療生協)

事務局長 大松美樹雄氏(けいはん医療生協)

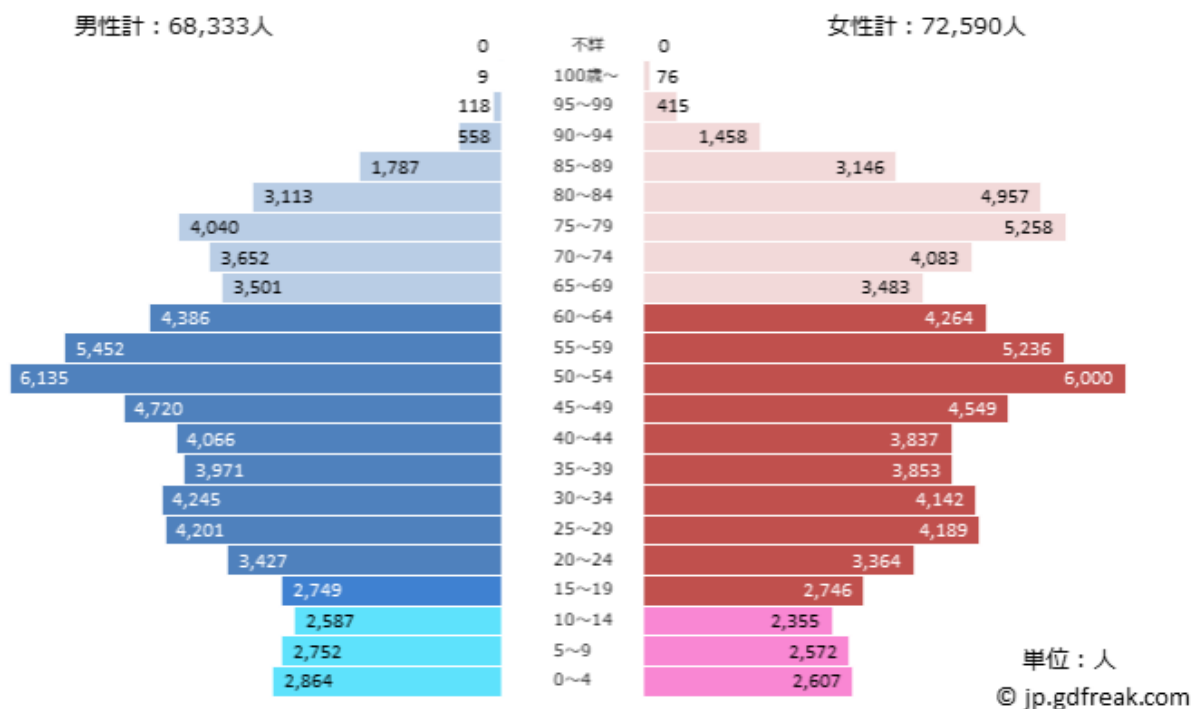
会計担当 山崎美保氏(守口民商)

会計監査担当 浅田好幸氏(守口民商)/石本純一氏(けいはん医療生協)

## ★守口市について

守口市は大阪の北河内地域にある自治体で大阪市に隣接しています。人口は 2025 年 11 月末現在 140,744 人で 2024 年度より 2640 人増となっています。2025 年度の年齢人口分布はグラフのようになっています。

守口市の2025年1月1日の人口構成 (住民基本台帳ベース,総人口)



データ出所)総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を基に GD Freak!が作成

## ★守口社保協運動の 2 つの焦点

2000 年介護保険制度スタート以来、守口市はくすのき広域連合(門真市・四條畷市と共同運営)で実施されてきましたが、第 9 期に広域連合は解散、単独運営となり保険料が安くなるのではないかとこの市民の期待を大きく裏切り、全国で 2 位という驚くべき高額保険料になりました。その一方で要支援認定者へのサービスが切り捨てようとしています。

国保ではいち早く大阪府統一保険料に合わせ毎年単年度黒字を積み上げ、ここ 2 年間多くの市町村が単年度赤字となっているなか、2023 年度現在基金は 22 億(被保険者一人当 87000 円)を超えています。さらに 2024 年度守口市国民健康保険特別会計決算書によると収支は 254,979,000 円の黒字、基金積立金は 130,000,000 円になっています。さらに詳しく見ると表のようになっています。歳入は予算との差が▲2.7 億円ですが、歳出は予算との差が▲13.3 億円、さらに歳出の保険給付費が予算より▲12 億円であり、黒字の殆どは保険給付費(医療費の支払い)が予算よりかなり少ないためであることがわかります。

2024年度守口市国民健康保険特別会計決算			単位：円
	予算	収入済額	予算との差
歳入	15,225,000,000	14,953,320,762	-271,679,238
歳出	15,225,000,000	13,890,663,565	-1,334,336,435
内)保険給付費	10,350,979,000	9,154,878,218	-1,196,100,782

つまり、守口市は統一保険料に合わせるために歳出が多く見積もられており、そのために大きな黒字がでているのではないかと考えられます。

## ★地域社保協がなぜ必要なのか

守口市のことは守口市民にしかわからないし、守口市民にしか声を出せません。そして声を上げなければ守口市役所は守口市で今何が起きていて市民が何に困っていて、市民がどんな要望やニーズを持っているのかわからないのです。その地域に社保協があり活動していることがなによりも重要です。

現在、全国に市町村は 1742 ありますが、人口規模や面積、気候などそれぞれみんな違います。大阪府にも 43 市町村があります。日本、都道府県とひとくくりにはできないため市町村があり、それぞれの違いに合わせた行政執行がされます。これが地方自治です。地域社保協の活動は地域住民のニーズにあわせた地方自治を支えるためにあると言えるでしょう。

## 2 月 14 日「2025 年度地域団体活動者会議」、3 月 14 日「大阪社保協第 36 回総会」にご参加を

3 月 14 日(土)の「大阪社保協第 36 回総会」を控え、大阪社保協では来年度活動方針などの議論をはじめています。「2025 年度地域・団体活動者会議」を 2 月 14 日(土)午後ハイブリッドで開催いたしますので、ご参加ください。また、地域社保協結成を目指しておられる地域からのご参加もよろしく願いいたします。別紙の地域社保活動報告用紙を 2 月 10 日(火)までにメールでお寄せください。(なお、この報告用紙の集約は総会資料にも入れますので必ず提出してください)

1. 日時 2026 年 2 月 14 日(土)午後 2 時～4 時

2 リアル会場 国労大阪会館 2 階第一小会議室

Zoom ミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/87672751381?pwd=of5ZQznOalboh82U0mE0o8WfkrhD8T.1>

ミーティング ID: 876 7275 1381 パスコード: 897866

3. 内容 ①「第 36 回総会議案」に対する討議

②地域での社会保障運動についての交流

③次期事務局体制選考委員会中間報告

# 2025 地域社保協活動報告用紙

☐ 団体・地域社保協名

記入者名

☐ 体制 会長

(団体名 )

副会長

事務局長

加盟団体数

個人会員数

☐ 2025 年度の機関会議の開催

・会議の定例化ができている。 幹事会 事務局会議 その他

・定例化できていない。 最終会議開催日 年 月

☐ 今年度(2025.3～2026.2)の学習会等の開催状況〔予定も含め、日時、テーマ、参加者数をお書きください。〕

☐ 2025 年度大阪社保協自治体キャラバン行動以外の自治体との懇談等について

・実施した 月 日 参加者数

・実施していない

☐ 今年度取り組んだ、または現在取り組んでいる署名

・ 署名名

集約数

筆

☐ 議会への意見書採択運動に ・取り組んだ ・取り組めていない

・訪問介護報酬引き上げ 月議会に対して 請願・陳情を提出 結果:採択・否決・その他

・国保国庫負担増 月議会に対して 請願・陳情を提出 結果:採択・否決・その他

☐ 2025 年度の取り組みについて(フードバンクや相談会など、単独でなく実行委員会に参加して取り組んだ内容も含めお書きください。)

☐ 2026 年度にむけてどのような取り組みをしようとお考えですか、また悩みなどあればお書きください。

\* 2026 年 2 月 10 日までに大阪社保協 osakasha@poppy.ocn.ne.jp に返信してください。